

東京外国為替市場委員会 第248回会合 議事録

開催日時 2022年2月22日 電話開催
議長 中村 直人
副議長 大澤 孝元
副議長 金戸 正登
書記 清水 祐希
出席者 27名

I. 小委員会活動報告

各小委員長から、2021年の活動の成果と来期の活動方針について報告がありました（後日公表予定の「年間活動報告書-2021年版」を参照）。

II. 令和三年 会計監査報告

星委員より、東京外為市場委員会の2021年会計年度（2020年4月1日～2021年3月31日）の監査報告結果に加え、2021年東京外為市場委員会の収支状況について報告されました。

III. 委員退任の件

中村議長より、呉田委員が退任する旨報告されました。

IV. GFXCの作業計画に関するサーベイの回答について

清水書記より、今後のGFXCの作業計画（①比例原則のガイダンス作成＜合意済み＞、②コード改定のフォローアップ作業・市場参加者の評価についてサーベイを実施、③決済リスクの低減への取り組み、④仮想通貨等にも作業分野を拡大、⑤コード遵守の促進＜①の作業後に取り組み＞、⑥マーケットデータの整備・公表、⑦コードとESGの関連付け）について各法域の為替市場委員の関心や優先度を探る目的で、GFXCよりサーベイが来着している旨報告がありました。GFXCから提示された各作業計画に対して、東京市場委としての取り組み優先度やその他取り上げるべきトピックの有無について確認がなされたことに加え、各作業計画において立ち上げられる予定のワーキンググループへの東京市場委からのメンバー参画についての考え（少なくとも、①と②の議題については、東京市場委員会からメンバーを選出することが適当との考え）が示され、特段異論は示されませんでした。

V. ファンドPVP化の論点についての共有

星野委員より、ファンドのPVP化のワーキンググループにおいて議論されている、CLS決済移行ファンドの非CLS決済対象通貨取引及び非CLS決済移行ファンド取引の決済方法に関し、SSIが設定されている通貨ペアの取引に関してもグロス決済方式からネット決済方式に移行する試みがあることに関して、オペレーションリスク増大の観点から反対意見が上がっている旨、情報共有がなされました。

VI. 取引高サーベイ調査項目拡充の提案

張準委員より、次回取引高サーベイ（22/4月実施）以降、他法域の取り組みと合わせ、BISが3年毎に実施しているサーベイに準拠する形で、決済方法に関する質問事項を拡充したい旨、提案がなされました。上記提案に対して、特段異論は示されませんでした。

以上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿(2月22日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○中村 直人	(三菱UFJ銀行)
副議長・Eコマース小委員長	○大澤 孝元	(バークレイズ銀行)
副議長	○金戸 正登	(みずほ銀行)
書記	○清水 祐希	(日本銀行)
運営小委員長	○山本 崇	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBSデイトリッキングリソースジャパン)
法律・コンプライアンス小委員長	○井上 達人	(三井住友信託銀行)
教育小委員長	○高山 典大	(野村証券)
市場調査・バイサイド小委員長	○呉田 真二	(三井住友銀行)
	○星野 昭	(シティグループ証券)
	○林 大樹	(JPモルガン・チェース銀行)
	○十時 潤一郎	(上田東短フォレックス)
	○宗川 雄視	(リフィニティブ・ジャパン)
	○宮崎 誠	(CLS)
	○好川 弘一	(NAB証券)
	○岩崎 拓也	(バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ)
	○大熊 貴之	(野村アセットマネジメント)
	○桑野 貴	(ゴールドマン・サックス証券)
	○井上 裕嗣	(BNPパリバ銀行)
	○福田 京子	(オーストラリア・ニューズ・ラント銀行)

<準委員>

○星 義浩	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○小柳 徳明	(三菱UFJ銀行)
○田中 潤平	(みずほ銀行)
○中野 琴音	(バークレイズ銀行)
○内山 祐樹	(三井住友銀行)
○張 恭輔	(日本銀行)

<オブザーバー>

○生駒 正照	(財務省)
--------	-------

(注) 敬称略(順不同)。○は今回出席。